

# 福中 里づくり計画

過去 ……………

現代 から 未来 へ

「夢」をもちつづけて

平成 12 年 1 月

福中里づくり協議会

## 福中里づくり計画 目次

福中里づくり計画の策定にあたって	2
I 地域の概況	4
(1) 対象地区の位置及び区域	4
(2) 地区農業の歴史	4
(3) 地区の世帯人口	4
(4) ほ場整備事業の概況	5
(5) 下水道の整備	5
(6) 史跡等	5
(7) アンケート調査	8
(8) 点検マップ	13
II 地域整備の基本方針	14
III 農業の振興に関する計画	14
(1) 稲作栽培計画	15
(2) 野菜栽培出荷計画	16
(3) 後継者・Uターン就農者の確保	17
IV 土地利用計画	18
(1) 農業保全区域	19
(2) 集落居住区域	19
(3) 特定用途区域	19
V 環境整備計画及び活性化計画	20
(1) 平野5号線、国道175号線拡幅対策	20
(2) 道路整備計画	20
(3) 集落下水道整備計画	20
VI 景観保全計画	21
(1) 旧道の整備	21
(2) 国道175号線沿線	21
(3) 池の整備等	22
(参考資料)	
アンケート個別意見 クロス集計	23
福中里づくり協議会規約 名簿	28
福中里づくり協議会活動経過	30

## 福中里づくり計画の策定にあたって

平成 12 年 1 月 1 日

福中里づくり協議会会長

松井 憲夫

福中集落は福中城の跡地であり歴史的な背景もありますが、現在は国道 175 号線が福中城跡の本丸あたりを南北に通過し、平野 5 号線が東西に交差していることから、車の通過もますます増えております。

一方で、福中、下村、芝崎、大野、中村地区で取り組みましたほ場整備事業も終わり、国道 175 号線の拡幅工事も進みつつあります。

また、以前からの地区の要望でありました平野 5 号線の拡幅の話も進み、測量に入っておりますし、平成 14 年には下水道の整備も終わる予定となりました。

これらの整備がすすんでおります中で、神戸市が「人と自然との共生ゾーンの整備」を進められているのを機会に、これからの福中の住民が、より一層生活しやすい活力ある快適な農村になるように、住民全体のためになる夢のある「里づくり」をめざしていきたいものです。そのなかで、特にアンケートでも希望の多かった「住民の憩いの場となる公園」が是非とも欲しいものです。

現在進められている道路等の整備にあたり、お世話になりました各関係機関の方々に心よりお礼申し上げますとともに、里づくり協議会の設立にあたり、平野町代表自治会長や西農政事務所の方々に再三お世話になり、ご苦勞をかけた事をお礼申し上げます。

これからも里づくり活動は続けて行きますので、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

## 平野町福中「里づくり計画」のめざすもの

神戸市産業振興局 西農政事務所長 藤平 博司

福中地区は、総戸数 24 戸で内農家 10 戸と集落としては比較的小規模であるが、東端部を国道 175 号線が南北に通過しており、旧明石～三木街道の両側の街並みは屋敷がまえからみて、古くから発展してきた地域であります。

福中城(平野城)跡は国道 175 号線で城跡は残っていないが、寶珠寺には当時を想像出来る資料が残っていると聞いています。

福中地区の農業は、専業農家 6 戸で内認定農業者 4 名と農業生産も活発であり、特に きくな、ほうれん草を中心とした軟弱野菜は“こうべ旬菜”を支援されています。

野菜栽培が盛んになった昭和 50 年代の神戸市野菜契約栽培事業で、当時担当者として福中の皆さんと議論した私にとっても、この「福中の里づくり」は感慨深いものがありました。

平野町における里づくり計画の策定は、国道 175 号沿線の土地利用計画が大きな課題でもあり、すでに平野南部地区(慶明、芝崎、向井)と下村地区が計画を策定され、今回、福中地区が策定されることとなり、宮前地区も策定中であることから、地域住民参加による“秩序ある土地利用”がさらに一歩前進することと確信いたしております。

福中地区は、農業保全区域、集落居住区域、特定用途区域がはっきりと区分されていることから、集落のテーマである「現在から未来へ夢をもちつづけて」の実現に積極的に取り組んでいただきたいと存じます。

農業の振興はもちろん、環境整備、活性化計画の早期実現を期待し、また里づくり計画策定にあたり、集落の皆さんのご努力、ご指導いただいた京都大学九鬼先生に感謝申し上げ、福中地区の発展を心から願っております。



## I 地域の概況

### (1) 対象地区の位置及び区域

計画対象地区である福中地区は、平野町の中ほどに位置し、区域の東端部を国道 175 号線が通過している。

地区の地形は国道 175 号線の部分が高く、そこを最高部としてなだらかに西に傾斜し、地区の大部分を占める集落部と農地部分は平坦な地形となっている。

国道 175 号線沿いは沿道サービス系等の施設があり、その西側にある旧道沿いに集落がある。多くの住宅はこの旧道に取り付く形で建てられており、国道から離れているために騒音も少なく、集落の環境も維持されている。

集落の西には集団的に農地が広がり、その西方を明石川が流れているが、明石川と計画地区は直接には接していない。

本計画の計画区域は、福中集落の全域をとする。

### (2) 地区農業の歴史

戦後から農業は水稲と野菜の栽培が中心で、昭和三十年代には既に旬の野菜を自転車やオートバイに積んで明石の市場に出荷したり、夏には当時の重要な生産販売品目であったスイカを大規模に栽培し、最盛期にはトラックに山積みして西ノ宮、大阪方面まで直販に出向くという農業経営もあり、現在の農業経営の基礎が既にこの時代に築かれていた。

昭和三十年代の終わりには農地の耕起は牛から耕運機に変わり、先駆的に耕運機を購入した農家が委託を受けて周辺の農家の農地を耕起する形態も見られた。

昭和四十年代に入り高度経済成長にあわせて農業の機械化はどんどんと加速され、昭和四十年代後半にはトラクターや稲刈り用のバインダーも導入されるようになった。

この頃には当地区でも軟弱野菜のビニールハウスによる施設栽培やトマトの露地栽培が盛んに行われた。

神戸市では昭和 49 年度より野菜価格の安定、市民供給率の向上、意欲ある農業者の支援等を目的に市内出荷を前提としたキクナ・ホウレンソウを対象とした野菜契約栽培事業が開始され、昭和 50 年に契約栽培の対象品目が 9 品目に拡大されたのを機会に福中の農家も契約栽培に加入するなどして、ますます福中の農業は拡充、現在に至っている。

### (3) 地区の世帯人口

平成 11 年 12 月現在

総戸数	総人口	農家戸数	農家人口	専業農家	第 1 種	第 2 種
24 戸	106 人	10 戸	56 人	6 戸 (1 法人を含む)	0 戸	4 戸

#### (4) ほ場整備事業の概況

##### (7) 土地改良事業 経過

内 容	年 月 日
着 手	平成元年 11 月 1 日
完 了	平成 7 年 3 月 20 日
工事完了公告	手続き中
換地処分公告	平成 9 年 3 月 2 1 日

##### (4) 換地面積の内訳

内 訳	面 積	筆 数
換地総面積	13.2ha	132
田・畑	11.2 ha	66
道路	1.4 ha	25
水路	0.6 ha	38
宅地	420 m <sup>2</sup>	2
雑種地	8 m <sup>2</sup>	1

#### (5) 下水道の整備

現在、市の整備計画に基づいて平成 14 年度の着工をめざして計画が進められている。

#### (6) 史跡等

##### (7) 福中城

通称 向井城, 平野城, 築城(1469-1487) 城主 間嶋 彦太郎

##### 城史

城主は赤松氏の一族間嶋氏（真嶋とも記されている）で代々、間嶋彦太郎を名乗っていた。

「性海寺文書」の内の「源 則真 燈油田 寄進状」によると、正長元年（1428）に源則真と源則樹の 2 人が平野荘内の田 1 町を性海寺（西区押部谷町高和に所在）に燈油田として寄進している。この寄進状の裏端書には「間嶋殿御寄進状」と記されており源則真と源則樹の 2 人が「間嶋殿」であると考えられる。このことから間嶋氏は 15 世紀の初め頃にはすでに平野荘を領有していたと推定できる。その後、間嶋氏は嘉吉の乱（1441）後、赤松家の滅亡と共にその所領を失ったが、応仁の乱（1467）後赤松家が再興されると再びもとの平野荘を領有した。そして文明年間（1469-1487）に土師道海に命じて平野荘の福中に城を築かせたと伝えられている。この土師道海築城家芦屋道満の流れをくみ、文明元年に赤松氏の置塩城を構築したとされているが、その他のことについては不詳である。

天文 23 年 (1554) 三好長慶の軍勢が三木の別所氏を攻め、別所方の 7 城を落とした。この時に落とされた別所方の 7 城の城名は伝えられていない。しかし、5 年後の永禄 2 年 (1559) に三木の別所氏とともに間嶋氏も三好勢に属して河内国へ攻め入り、安見勢と戦っていることから羽柴秀吉による三木の別所攻めが始まり、東播地方一帯の諸城、諸寺院は別所方と秀吉方とに別れて戦った。

この時の間嶋氏の動勢については不詳である。天正 8 年に別所氏の居城三木城が落城すると、秀吉は別所方の 9 城の取り壊しを命じた。その 9 城のうちに「平野之城」という城名が記されており、旧明石平野荘に所在するこの福中城がそれに該当すると考えられる。このことから間嶋氏は秀吉による別所攻めの時には別所方に属していたと考えられ、その居城である福中城は三木城落城後に取り壊され、廢城となったのであろう。

## 現状

城の中心付近の標高は 37m で西側の水田面との比高差は 13m である。

現在、曲輪跡には住宅や工場、温室が建ち並び、2 重にめぐっていたといわれる堀跡も大部分は埋め立てられており、そのため原形を確認することは困難となっている。また城域は、その中央付近を通る国道 175 号線によって、東西に分断されている。しかし全体として大規模な造成工事は行なわれていないため、概略的な輪郭は推定できる。

旧街道に面して曲輪跡も多く推定できることから、城の西側に大手口が設けられていたものと思われる。城の北側に隣接して「平瀬」「平瀬前」という字名が残っており、間嶋家の被官であった平瀬氏の屋敷が存在したものと考えられる。

## (イ) 寶珠寺

### 間嶋氏の石塔

福中城跡を東西に縦断する国道 175 号線の西側、城跡の北端から北へわずか 200m のところに寶珠寺がある。

寶珠寺は禅宗曹洞宗で、もと月照寺(明石市人丸山)の末寺であった。

「明石記」の寶珠寺の条に間嶋彦太郎殿の菩提所で、位牌と石塔がこの寺にあるとされるされている。

寶珠寺では彦太郎の法名は「寶珠寺殿露白富朝居士」となっている。石塔は花崗岩製の五輪で、高さ 152 センチメートル。石面の風化がかなり進んでいる。地輪部の表面に 3 行に刻まれた文字は、川辺賢武氏の調査によると中央ははっきり読めないが、左右は「文禄二年」(左)「十二月廿三日」(右)であるらしい。

前記「采邑私記」福中村の条に、「間嶋氏が文禄年中に相続にいてここに没したという」とあるのは、あるいはこの石塔の文字から出た説であるかも知れない。この五輪石塔の右に小型の宝篋印塔が 2 基あるが、不完全である。

間嶋則真が正長のころ、性海寺に田 1 町を寄進したということから、当時まだ間嶋氏の菩提寺が無かったことと、中世の複雑な村落関係から性海寺が間嶋氏の勢力圏内にある有力寺院であったからだろうと考えられる。

平野町慶明の花岡山は現在も墓山で多くの集落のサンマイになっているが、ここは古墳時代からの塚山であるから、間嶋氏のサンマイもこの山のどこかにあったのではないかと想像できる。

なお、寶珠寺は昭和 4 年に火災により焼失し、現在の建物はその後再建されたものである。



## アンケート調査の概要（平成 11 年 9 月実施）

福中地区の住民の農業や農地，生活環境等に対する意向を把握するためにアンケート調査を実施し，男性 29 女性名 31 名の住民の回答を得ました。

集計結果の実数は次ページに，意見及びクロス集計は巻末の参考資料に掲載をしております。

アンケート調査の概要としては，福中地区は農業の盛んな地域であるが，非農家もあり，回答者の約三分の一は「ほとんど農業には関わり無い」という状態であった。

地区では交通の手段として三分の二が「自家用車」をあげておられるが，この傾向は西区での平均的な傾向とみられる。

日頃危険や不安を感じる事として「交通事故」がトップで，続いて「防犯燈が少ない」が続いているが，防犯燈に対する要望は西区の他の地区よりは少し低い傾向にある。

衛生面の不安としては「蚊やハエ等の害虫」がトップで「ゴミ」「水質」「大気汚染」と続くがこれも西区の各地区で共通の問題点となっている。

日頃不便と感じることについては，「診療」医療施設」「道路状態」「バス便」等があげられているが，一方で「とくになし」との回答も多いことから，車での移動が可能な人にとっては問題の少ない地域になる。

快適な生活をするうえでの不満としては「ゴミの不法投棄」「子どもの遊び場・公園」をあげる意見が多くあった。農村は一見スペースが多い様に見られがちだが，憩いの場・遊び場としてのスペースは限られているという傾向を示している。

都市化が進むことの影響としては，やはり「車が増えて心配」という意見が突出している。しかし一方で「利便性の向上」「地区の発展」として肯定的な意見もある。安全性を確保しての利便性の向上，地区の発展，活性化が必要であるという事がアンケート結果から導き出される。

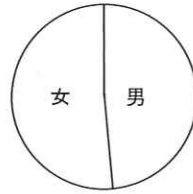
農地・農業については農業にほとんどかかわりの無い人も多い中で「緑が多く自然に恵まれた良い環境」「子供たちにとって良い環境」というプラス面をあげる意見が圧倒的に多い。「荒廃農地の見苦しさ」「水路ため池の危険」という面を指摘する意見もわずかながらあるが，これも管理面の不備を指摘する意見であり，決して農村・農業を否定する意見ではない。

今後の土地利用や地域整備のありかたとしては，「農地は農地として保全」「転用は一定区域に限り他は農地として保全」を希望する意見が 8 割近くあり，現状の土地利用の一定的な継続を多くの住民が望んでいるということが読み取れる。

## アンケート集計結果

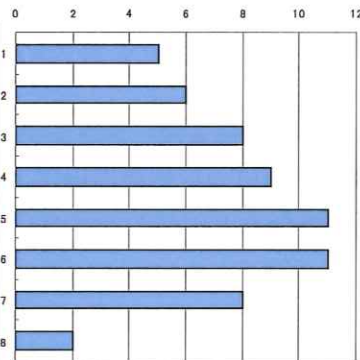
回答者の性別

男	女	合計
29	31	60



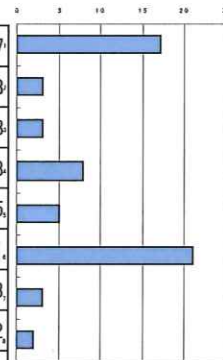
回答者の年齢別

20才未満	5
20才～29才	6
30才～39才	8
40才～49才	9
50才～59才	11
60才～69才	11
70才以上	8
不明	2
合計	60



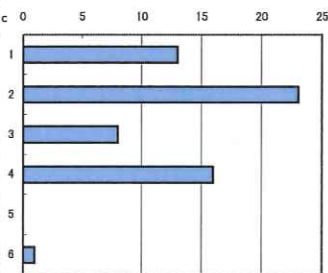
農業とのかかわり

1. 農業のみに従事している。	17
2. 他の職業についているが、農業の中心的担い手として働いている。	3
3. 土日には農業を手伝っている。	3
4. たまに農業を手伝うことがある。	8
5. 農家ではないが、家庭菜園、市民農園を 利用している。	5
6. ほとんど農業には関わりがない。	21
7. かつては農業をしていたが今は隠居している。	3
8. その他	2
合計	62



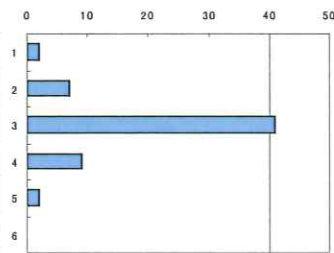
外出される場合、どちらの方面が多いでしょうか。

1. 当地区内	13
2. 西神中央方面	23
3. 神戸・三宮方面	8
4. 明石方面	16
5. 三木市方面	0
6. その他	1
合計	61



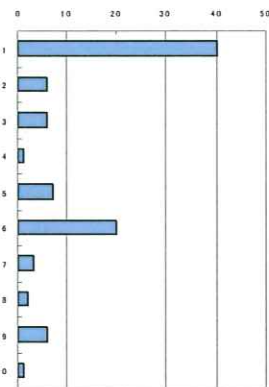
交通手段は何を利用されますか。

1. 徒歩	2
2. 自転車、バイク	7
3. 自家用車	41
4. 路線バス	9
5. 電車・地下鉄	2
6. その他	0
合計	61



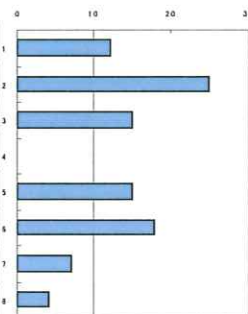
日頃危険や、不安を感じておられること

1. 交通事故の危険が多い。	40
2. ため池や河川など通学路が危険である。	6
3. 防火対策が十分でない。	6
4. ため池の決壊の危険がある。	1
5. 大雨時に浸水の危険がある。	7
6. 防犯灯(街路燈)が少ない。	20
7. 崖崩れの心配がある。	3
8. 危険物や爆破物の管理が悪い。	2
9. とくになし。	6
10. その他	1
合計	92



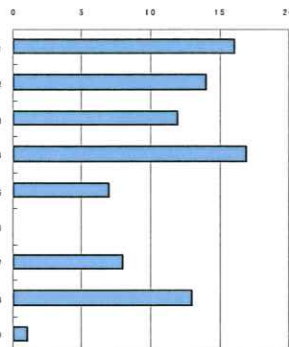
日頃、健康や衛生の面で不安を感じておられること

1. ほこり、空気の汚れがひどい。	12
2. 蚊、ハエ、ゴキブリ、ネズミが多い。	25
3. 騒音、振動がひどい。	15
4. 日当たり、風通しが悪い。	0
5. 水路等の水質汚濁が進み、悪臭がひどい。	15
6. 空き地の雑草や不法投棄のゴミが不衛生。	18
7. とくになし。	7
8. その他( )	4
合計	96



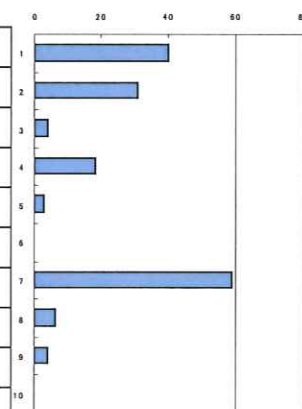
日頃便利が悪くて困っておられること

1. 集落内の道路整備が悪い。	16
2. 集落から中心地に出る道路の整備が悪い。	14
3. バス等の交通機関の便が悪い。	12
4. 食料、日用品の買物の便が悪い。	17
5. 診療所、医療施設が遠い。	7
6. 保育所、幼稚園が遠い。	0
7. 集落内が狭く、駐車場がない。	8
8. とくになし。	13
9. その他( )	1
合計	88



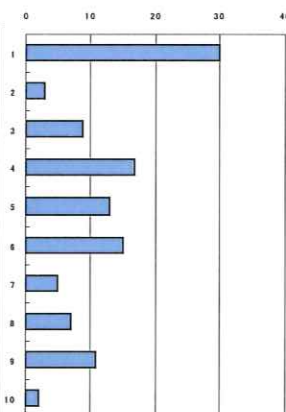
日頃、快適な生活という面で不満を感じておられること

1. 子供の遊び場が少ない。	40
2. 公園、運動場、プールが少ない。	31
3. 地区の公民館が古くて手狭である。	4
4. 図書館、資料館等の文化施設がない。	18
5. 青少年に対する教育環境が悪い。	3
6. 広告等が乱雑で、美しい景観とはいえない。	0
7. ごみの不法投棄が多い。	59
8. 資材置き場や土採り場が多く、見苦しい。	6
9. とくになし。	4
10. その他	0
合計	165



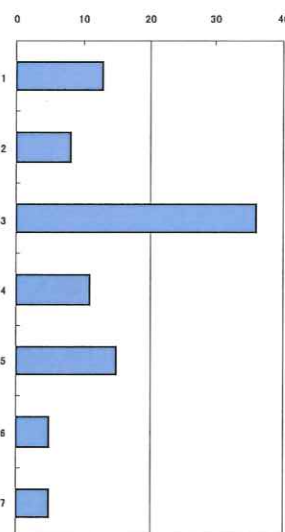
生活環境を快適にするために今後どの様なことが必要か

1. 公園、運動広場を整備してほしい。	30
2. 集会所を整備充実させてほしい。	3
3. 集落内排水路を整備してほしい。	9
4. 幹線道路を整備してほしい。	17
5. 集落内道路を整備してほしい。	13
6. 街路灯を整備してほしい。	15
7. 共同駐車場を整備してほしい。	5
8. 分家住宅用地を確保して整備してほしい。	7
9. 植栽や花壇を増やしてきれいな町並みに。	11
10. その他( )	2
合計	112



都市化が進み、一般住宅や各種の工場等の進出が見られますが

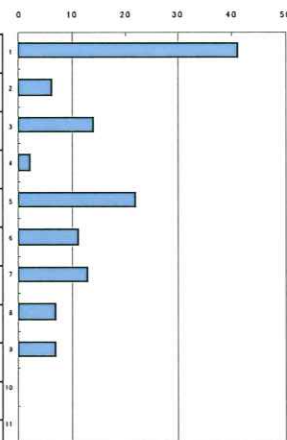
1. 工場等が増えるとあわせて商店やいろいろな施設も増え日常生活が便利になる。	13
2. パートなどの就業機会が増えるので、地区の発展にとって好ましい。	8
3. 車が増えるので、交通事故が心配だ。	36
4. 生活排水により、農業用水が汚れるのが心配だ。	11
5. 昔からの美しい農村風景が破壊される。	15
6. 新しく入居する人とは生活習慣が異なるので、うまくやっていけるかどうか心配だ。	5
7. その他	5
合計	93





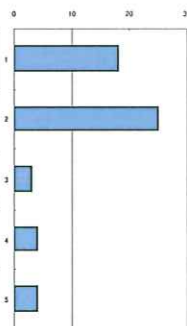
農地が広がり、農業が営まれていることについて

1. 緑が多く自然に恵まれていてよい環境だと思う。	41
2. 自然に親しむのが好きで、よく散歩している。	6
3. 新鮮な野菜類が入手しやすい。	14
4. 貸し農園があれば自分も利用したいと思う。	2
5. 子供たちにとっても自然に親しむ機会が増えてよい。	22
6. 蚊やハエが発生しやすく、不衛生である。	11
7. 水路が汚れていて、悪臭がする。	13
8. 水路やため池など危険な所が多い。	7
9. 農地として利用されず、荒れて見苦しい	7
10. その他	0
11. わからない。	0
合計	123



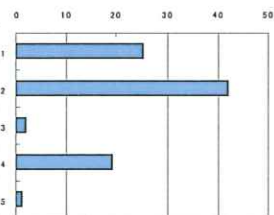
今後の土地利用や地域整備のあり方として

1. 地域の環境を守るためには、これ以上工場等の進出を許さず現在の農地はすべて農地として保全すべき。	18
2. 農地の他用途(分家住宅や工場など)への転用は一定区域内に限り、他は農地として保全すべき。	25
3. もっと工場等を誘致し、積極的な開発を進めるべき。	3
4. その他	4
5. わからない	4
合計	54



どのような種類の開発であれば認められますか

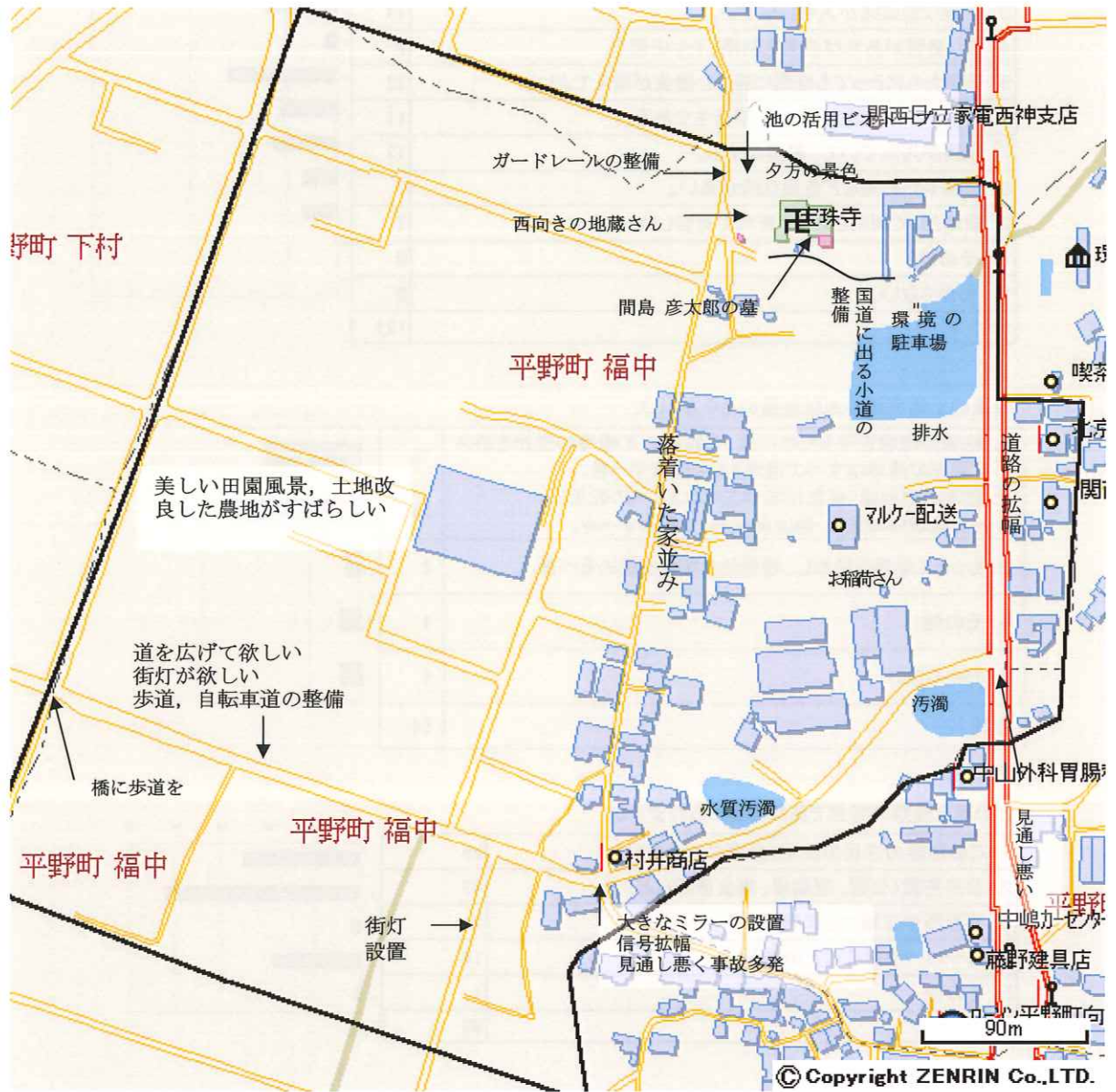
1. この地区の住民の住宅(分家住宅を含む)	25
2. 公共施設(公園、運動場、集会施設など)	42
3. 事務所や工場などの建設	2
4. スーパーや商店などの建設	19
5. その他	1
合計	89



所有地の新たな利用計画

1. 自己住宅の新築または増築	3
2. 分家住宅用地	0
3. 工場、駐車場、店舗等の経営	2
4. 資材置き場	1
5. その他	2
合計	8件

点検マップ



## II 地域整備の基本方針

当地区は総戸数 24 戸の集落で、ほ場整備事業も完了し、神戸農業振興計画においても、既に現在の集落区域の大部分は農用地区域からの面的除外の調整も終わっている。

集落の下水処理についても公共下水道に接続する方向で整備が決定しており、良好な集落環境の整備が着々と実りつつある。

「人と自然との共生ゾーンの指定等に関する条例」が施行されたことにともない、より良好な集落環境が維持できるよう、住民自らが地域の農業や環境を点検し、あわせて地区内の土地利用を調整することにより里づくり計画を策定し、「安全で住みやすく、活力のある福中集落」を築き上げる。

## III 農業の振興に関する計画

福中集落は農家数 10 戸と西区でも小規模な集落であるが、農業も盛んで専業率や認定農家率も非常に高い。

今後平野町の農業の中核地区として野菜生産で地域農業を支えて足腰の強い農業を維持していくとともに、野菜栽培農地以外の農地は水稻栽培により農地を管理し、農村環境や農業生産基盤を維持していく。

農家数及び形態内訳

平成 11 年 12 月現在

総農家戸数	専業農家	第一種兼業	第二種兼業	認定農業者
10 戸	6	0	4	4 戸
	主業農家	準主業農家	副業的農家	
	6	0	4	

主業農家： 農業所得が主で 65 歳未満の農業従事 60 日以上のものである農家  
 準主業農家： 農外所得が主で 65 歳未満の農業従事 60 日以上のものである農家  
 副業的農家： 65 歳未満の農業従事 60 日以上のものであるがいない農家

農地面積

平成 11 年 12 月現在

農地面積	田	畑	樹園地
1,016 a	1,001	15	0

作付現況 (地区外農地も含む)

平成 11 年 12 月現在

内容	トントコイ	コシカ	キヌヒカ	ヒノヒカ	水稻計	野菜	自己保全	合計
面積 a	160	192	123.2	103.6	578.8	421.4	0.9	1001.1
率	27.6%	33.2%	21.3%	17.9%	57.8%	42.1%	0.1%	100.0%



(1) 稲作栽培計画

(ア) 水稻栽培の目標

福中地区内には 1,016 a の農地（田）があり，平成 11 年度には 578.8 a の水稻を作付けしている。

単位 a

水稻 計	ドントコイ	コシヒカリ	キヌヒカリ	ヒノヒカリ
578.8	160	192	123.2	103.6

平成 11 年 12 月現在

以前は栽培が容易で，収量が安定している「日本晴」，「中生新千本」を中心に栽培されていたが，量より質，「食味」に重点を置いた水稻栽培が推進された結果，「どんとこい」「こしひかり」を中心とした作付けに移行してきた。

一時は「どんとこい」の作付面積が急激に増加したが，品質，収量等でこの 1～2 年に再び「こしひかり」が見直され，今後「こしひかり」の増加が見込まれる。

今後も，ほ場整備事業により整備された水田を活用して，食味に重点を置いた「おいしい米作り」を追求する。

(イ) 栽培作業の合理化

稲作に対するアンケート調査結果

平成 10 年 3 月現在

現在の水稻作業						現在の作業委託の面積 (a)					
自分で全作業	一部作業委託	全作業委託	集落共同作業	水稲不作付	その他	全ての作業	耕耘・代かき	田植え	刈り取り	乾燥・調整 (JA利用)	乾燥・調整 (JA以外)
3	4	2				0	0	90	45	136	55

水稻作業の希望			希望する作業委託の内容								作業委託先の希望				
自分で全作業	一部作業委託	全作業委託	集落共同作業	全作業 (水管理等含む)	全作業 (水管理等除く)	耕耘・代かき	田植え	刈り取り	乾燥・調整 (JA利用)	乾燥・調整 (JA以外)	知り合い	集落内農家	集落内受託組織	市農協	その他
3	3	3		2	0	0	1	1	1	0	2	0	0	1	0

アンケートの結果からみると，今後急速に作業受委託が増加するとは考えられないが，将来的には農作業機械の老朽化にともない，水稻栽培作業の合理化をはかるために，既存の「平野町オペレーター組織」等の活用を図る。

現在，既に当オペレーター組織の利用が一部ですんでいるが，兼業農家を中心に専作的野菜栽培型の農業を目指す専業農家も含めて水稻栽培作業の合理化を進める。

委託内容は，当初は日常の野菜栽培用のトラクターを活用できる「荒起」以外の「田植」「稲刈」「乾燥・調整」の稲作主要 3 作業とし，利用率の低い稲作機械への過剰投資をさけるとともに，水稻栽培の省力化を図ったことにより生じた余力を，主要作物である軟弱野菜の栽培や兼業労働に振り向ける。



なお、作業受委託を進めるにあたっては、集落環境の維持とホーロー組織活動の円滑化を支えるために、畦畔・水路の除草等の管理と水稲栽培における日常の水管理等は共同または個々の農家で実施する。

## (2) 野菜栽培出荷計画

### (ア) 野菜栽培の目標

古くから培われてきた野菜栽培技術を礎に、都市型農業の利点を活かした軟弱野菜栽培や水耕栽培が行われているが、今後も技術の研鑽をはかり、地場野菜の生産に意欲をそそぐ。

福中地区では温室、ビニールハウス合わせて約 435 a を活用して軟弱野菜、水耕トマトを栽培されており、今後は農家では現有する施設を有効に活用する。なお 1 戸の農家が今後 15a のビニールハウスの増設を予定されており、最終的に 450a の施設での生産を行う。

なお、今後耐用年数経過により改築が必要になれば、改良資金等の導入で施設の高級化も検討に入れる。



### (イ) 土づくり

ほ場整備事業完了後から、特に有機物の投入により土づくりを進めているが、今後も神戸市の方針に沿って、有機質重点、減農薬栽培に取り組む。

土づくりの基準として、「こうべ有機」や当地区独自で確保している「馬糞堆肥」を適正量投入し、連作体系に耐える土づくりを継続する。

### (ウ) 栽培品目

1 戸当たり平均 7,500 m<sup>2</sup>、集落全体で約 4.5ha の温室、ビニールハウスを活用して、生育が早く作業性・収益性に優れる小松菜、ハウレンソウ、また水耕トマトを中心に栽培を継続する。

軟弱野菜栽培では約 7 回転の輪作体系を組み合わせ、ビニールハウスの高率利用を維持し、水耕トマト栽培では水耕のメリットを活かした長期収穫により生産費の軽減、所得の向上につなげる。

#### (エ) 販売対策

野菜出荷については、今後も技術の研鑽をはかり、良品質の野菜を生産し出荷率を高める。

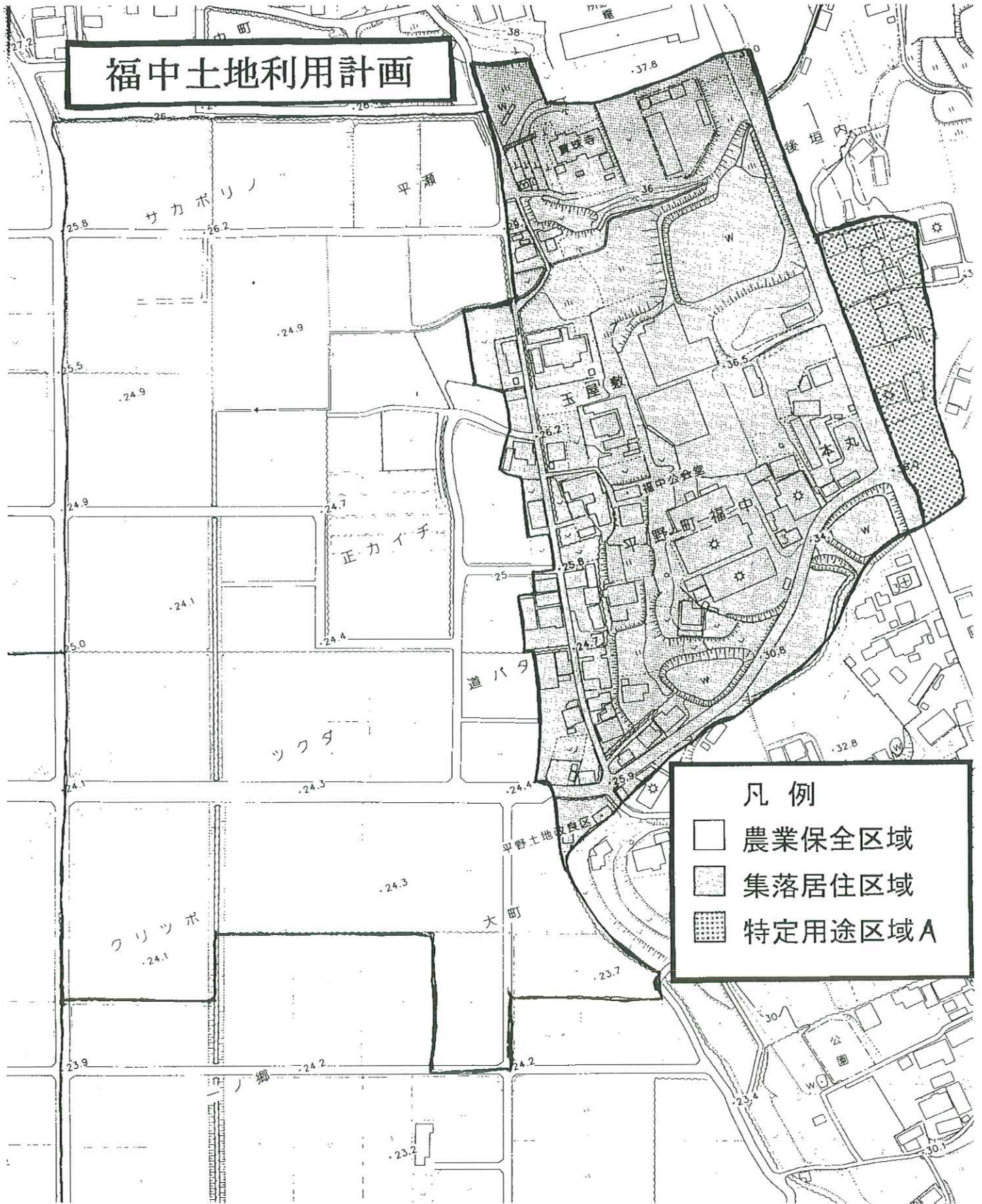
なお西農協で経済センターに直売所が整備されたことから、直売用の「地元の野菜」として、より新鮮な野菜を周辺の消費者に供給する。また直売所利用を組み入れた新たな営農形態も検討・実践する。

明石海峡大橋の開通に伴う価格への影響は、現在大きな変化はでていないが、品目や、品質の向上で対抗する。

#### (3) 後継者・Uターン就農者の確保

現在、後継者確保の問題で、積極的な後継者の確保も難しいが、現在ある優良農地を保全し、将来、後継者・Uターン就農者がいつでも就農出来るよう、土づくりやビニールハウスの管理により営農環境の維持につとめる。

# 福中土地利用計画





#### IV 土地利用計画

土地利用に関する検討の経過の中で、福中地区として位置付けできる大規模開発や分家住宅の整備計画が無かったために、本計画においては既存の土地利用を位置付ける形で土地利用計画を策定する。

なお、国道拡幅整備に伴う新たな計画や分家住宅等の新たなニーズが発生した場合は5年後を目途に計画変更を行う。

##### (1) 農業保全区域

ほ場整備完了農地を中心に農業保全区域に指定し、優良農地は可能な限り保全する。優良農地の保全・活用により農業生産を維持するとともに、集落の生活環境の保全にも役立てる。

##### (2) 集落居住区域

農業振興地域整備計画の農用地区域からの面的除外地と、ほ場整備事業で設定された非農地設定区域に限定して指定し、新たに必要が生じた場合は、計画変更で追加する。なお、旧道沿いで一部ほ場整備事業実施農地の指定希望があったが、ほ場整備事業完了後の年数が経過していないため、次回の変更で再度希望を確認して追加する。

##### (3) 特定用途区域

平野南部地区の里づくり計画、特定用途区域にあわせるかたちで国道175号線以東を区域に設定する。

今後新たな計画が生じた場合は、変更で点的に指定する。

区 域	面積	率
農業保全区域	13.8ha	63.0%
集落居住区域	7.4ha	33.8%
特定用途区域 A	0.7ha	3.2%
合 計	21.9ha	



## V 環境整備計画及び活性化計画

### (1) 平野 5 号線, 国道 175 号線拡幅対策

早期整備が特に待ち望まれている平野 5 号線と国道 175 号線の拡幅について引き続き強く要請するとともに, 沿道環境対策を引き続き検討し, 措置を要望する。

### (2) 道路整備計画

集落内の道路が学童の通学道路となっており, 集落の南端の交差点は非常に見通しが悪いという状況にあるため, 道路, 交差点の改良と道路の通過交通の減少対策, 宮前・田中線の早期着工を働きかける。

### (3) 集落下水道整備計画

長年の夢である水洗化も見込みが立ったことから, 下水道整備後は市街化区域並みの生活環境が確保されることになる。

なお下水道整備後も現在利用されている水路は雨水排水路・農業用水路として続けて活用されることから, これらの水路も美化・活用に努める。

## VI 景観保全計画

### (1) 旧道の整備

集落内の道路は旧三木街道，また福中城跡としての影響もあってか，非常に落ち着いた良い雰囲気を残している。福中集落の持ち味，誇りとしてこの道路，家並みを良い状態で維持管理して行く。

### (2) 国道 175 号線沿線

国道沿線が無秩序な景観が広がりつつあり見苦しいという意見があることから，国道拡幅整備を機会に，国道沿線の景観向上を積極的に呼びかける。

### (3) 池の整備等

地区内のため池は汚濁が進行しているとの指摘があり、現実に有効活用されていないため池もあるが、生活環境強く関連していることから、池の景観整備を検討する。

また特に下村との接点で寶珠寺の下にある「蛭池」には、農業用水池としての利用はされておらず、わずかな水が溜り、あふれた水は下の農業用水路に流れているが、この小さな水辺にたくさんのメダカが泳ぎ、冬にはカモが飛来したり1月から2月にかけてカワセミが美しい姿でエサをとっている。

当池に付いては、現在有効に活用されていないため、将来的には公園等としての活用も検討するが、当面は美観の面や通学路に面していることから安全対策に配慮しながら、池及び周辺の草刈等、環境改善をはかり住民、特に学童がメダカ等の水生動物や野鳥が観察できるように検討する。

(参考資料)

アンケート個別意見

問い	意見
5	見通しが悪い狭い四つ角がある
5	工場排水
5	175号線福中信号より中津まで、竹やぶがあり、道路の見通し悪い、事故多発田中、平野線を含む道路整備が急務
6	下水道の整備までは 夏場は月2回ぐらいは汲み取りに来て欲しい
6	汲み取りを多く来て欲しい
6	火を燃やしてその灰が風のある日は家の中に入ってくる。
6	枯葉剤と農薬で鳥やねこや、その他の小動物の死骸が多い季節がある。
7	工業排水で池が埋まり、水質が悪くなっている。
7	JRや地下鉄に遠くて困る
7	予定道路が中々出来ない
7	地域農家の非農家に対する対応は良いと思う
8	不法にゴミを燃やすので、すべての灰がかかる、息苦しい、体に悪い
9	平野5号線整備
10	バスの路線本数が変更されること
10	古い生活習慣に新しい風が吹いて良いと思う
10	市街化調整区域ということで、良好な住宅建築が制限されているにもかかわらず、工場も資材置き場等、環境悪化につながる施設が増えているのはどう考えてもおかしい。特に国道路沿いは見苦しすぎる。バランスのとれた地区整備をすべき。働く人の住宅を建てて行く方が地区活性化に繋がる。現実に中学校は西神に行ってしまった。バスで行けない子供も一杯いるのに。
11	農業は生きるがための職業
11	農地を持っていない人が農地を手に入れ、農業をしようと思っても難しすぎる。これでは農業は衰退するばかりである。
12	新住民とのふれあい
12	観光農業、ふれあい農園
12	非農家が相続で少ない田を取得した時に、転用が難しすぎる
12	農地を守るなら、働き手、新しい農業従事者が入りやすいようなシステムにすべき。 無秩序な工場用地等の転用はいけないが、地区の発展につながると地区住民が納得する場合、むしろ積極的に活性化すべき。開発の際に地元住民の意見によっては計画変更中止まで出来るシステムが整えば良い。この地区への工場誘致は地区に合わない住宅ならまだしも工場だけの誘致は避けるべきである。バランスのとれた地区整備をすべきである。しかし神戸市の整備してきたニュータウンのようにあまりにも厳格に都市計画区域をきれいに線引きした地区整備は既に古くから住民が生活をしている当地区には合わないであろう。
13	児童館(2名)
16	福中城跡は池もあり池も工場排水で汚れ、今や魚もほとんどいない。昔はのんびりと魚釣りがどの池でも出来たのに。



16	ほ場整備事業後に道路舗装を行うのはルールである。ほ場整備事業後の農道は西神, 岩岡, 大久保ルートのみならず、ぬけ道にもなっており、現在でも交通量が多い。朝などは175号線に出るのに信号2回は待たないと出られない。今後西バイパスが完成するまでに整備を終わらないと地区は混乱するのが目に見えている。西バイパスの側道はここで行き止まりなのだから。
17	農地の有効利用, 都市の小学生たちとのふれあい, トライアルウィークの迎え入れ
17	農地が余っている。土地を利用して公共の場をもっと多くつくる。子どもの人数は年々減ってきているが、平野町福中に公園をつくる。子どものためだけでなく、老人その他地域の憩いの場として公園をつくる。また、子どものために地域の児童館をつくる。もっと公民館を開放する。
17	宮下の人達が散歩に良く来るが、犬のフンが処理されていない。
17	農業のことを知ってもらえるような ふれあい農業
17	地区内に三つの野池があるが、水利不用になっている現在、行政の方で公園広場等に整備し利用できるようにしていただけないものか。
17	緑はたくさんあるが、身近で子どもたちが安心して遊べる公園が欲しい。何処にいるかわからないと不安に思うよりは、あー公園に行くんだと分かる。子供達や母親が顔を合わせることが出来る公園が欲しい
17	この地区自体本気で農業振興に取り組まなくてはならないような地区としてはもう既になっていないと思う。西神ニュータウン、国道175号線沿いの無秩序な店舗、工場等の進む隣の玉津田中地区の住宅団地等により昔の農村集落地区の面影が少なくなっている。それに加えてすぐ近くに第2神明とそれに接続する神戸西バイパス(側道)の整備等も考えると、どう考えても今の農業をま守るだけと言うような守りの姿勢では時代遅れになってしまう(取り残される)。それが証拠に農地がいつのまにか資材置場や建築関係の車両置場事務所等本当に見苦しい状態になっている。最近でも土地改良区の事務所跡地利用を見てもわかるように、これが悲しい現実なのである。むしろ市街化調整区域の中途半端な状態にしておくのでなくて、旧村落住民に配慮した積極的な土地利用、公共整備(道路、公園等)も含めた活性化を検討して行くべきである。 もし農業振興に重点を置くのなら新しく農業をしようとする住民が参入しやすいシステムづくり、または個人農業から会社組織的農業への転換等を図っていくべきである。そうしないと地区は過疎化の進行、中途半端な開発による混乱が進んで行くばかりである。世の中不景気なのである。農業従事者を増やすのは絶好のチャンスである。しかし収入の低さがネックになるので、農業の高付加価値化は絶対の条件ではある。しかしそうするにはこの地区では狭すぎる。もう少し広域的な視点で進めて行くべきか。何か福中だけで里づくりというのは少し地域が狭すぎるのでは。
17	蛭池には、わずかな水が溜り、下の農業用水路に流れていますが、この小さな水辺にたくさんのメダカが泳ぎ、冬にはカモが飛来したり、1月から2月にかけてカワセミが美しい姿でエサをとっています。昨年の10月には大きなヌートリアが岸から水の中を泳いでいました。池の中にはビニールのゴミなど多く、雑草も繁って残念です。もう少しきれいになれば水辺の生物を楽しむことが出来るのではないかと思います。

## アンケートクロス集計

### 日頃危険や不安を感じているところ

	交通	池・川	防火	決壊	浸水	暗い	がけ	危険物	無し	その他
男	22	4	2	0	4	10	2	0	1	0
～20	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0
20～30	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
30～39	4	0	0	0	0	2	0	0	0	0
40～49	4	1	0	0	1	2	1	0	0	0
50～59	5	0	0	0	2	1	1	0	0	0
60～69	2	1	1	0	0	1	0	0	0	0
70～	4	1	1	0	1	2	0	0	0	0
女	19	2	4	1	4	10	1	2	5	1
～20	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0
20～30	2	0	1	0	1	2	1	0	1	1
30～39	3	1	0	0	0	1	0	0	0	0
40～49	2	1	0	0	1	1	0	0	1	0
50～59	5	0	1	0	0	2	0	0	1	0
60～69	4	0	2	1	0	2	0	1	1	0
70～	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0
合計	41	6	6	1	8	20	3	2	6	1

### 日頃健康衛生の面で不安を感じているところ

	大気汚染	害虫	騒音	日当	水質汚濁	雑草	無し	その他
男	6	8	8	0	10	11	4	1
～20	1	1	1	0	0	0	1	0
20～30	0	1	0	0	0	0	0	0
30～39	2	2	2	0	0	2	0	0
40～49	0	0	1	0	3	5	1	0
50～59	0	1	1	0	3	1	1	0
60～69	1	1	1	0	2	1	1	0
70～	1	2	2	0	2	2	0	1
女	6	17	8	0	5	7	3	4
～20	1	0	0	0	0	0	1	0
20～30	0	1	0	0	0	1	1	2
30～39	1	4	2	0	1	2	0	0
40～49	0	2	1	0	1	1	0	1
50～59	1	4	2	0	1	2	1	0
60～69	2	5	1	0	2	0	0	0
70～	0	1	1	0	0	1	0	1
合計	12	25	16	0	15	18	7	5

### 不便を感じること

	道路	幹線	バス	買物	医療	幼稚	駐車	無し	その他
男	13	10	5	6	3	0	6	6	1
～20	1	0	0	2	0	0	1	0	1
20～30	0	0	0	0	0	0	0	1	0
30～39	2	2	2	1	0	0	0	1	0
40～49	4	2	1	0	0	0	1	0	0
50～59	3	3	1	2	1	0	1	1	0
60～69	1	1	0	1	0	0	2	1	0
70～	1	2	1	0	2	0	1	2	0
女	3	5	7	11	4	0	3	7	0
～20	0	0	1	0	0	0	1	0	0
20～30	1	1	1	2	0	0	0	2	0
30～39	1	0	1	3	2	0	0	0	0
40～49	0	1	0	2	1	0	1	0	0
50～59	0	1	1	2	0	0	0	2	0
60～69	1	1	3	2	1	0	0	1	0
70～	0	1	0	0	0	0	1	1	0
合計	16	15	12	17	7	0	9	13	1

快適な生活と言う面で不満

	遊び場	公園	公民館	文化	教育環境	広告	不法投棄	資材置場	なし	その他
男	21	15	3	8	2	0	11	4	1	0
～20	2	3	1	1	0	0	0	0	0	0
20～30	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0
30～39	2	1	1	1	0	0	2	1	0	0
40～49	6	3	0	3	1	0	2	1	0	0
50～59	2	2	1	2	0	0	3	0	0	0
60～69	3	2	0	0	0	0	1	1	1	0
70～	4	3	0	1	1	0	2	1	0	0
女	20	16	1	11	1	0	11	2	3	0
～20	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0
20～30	2	2	0	1	0	0	1	0	2	0
30～39	3	2	0	2	0	0	1	1	0	0
40～49	3	2	0	3	0	0	3	0	0	0
50～59	4	3	1	1	0	0	1	0	1	0
60～69	5	5	0	2	0	0	3	1	0	0
70～	3	1	0	1	0	0	1	0	0	0
合計	41	31	4	19	3	0	22	6	4	0

今後生活環境を快適にするための改善点

	公園	集会所	排水	幹線	集落道	街灯	駐車場	分家	花壇	その他
男	15	3	6	11	8	6	3	4	6	0
～20	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
20～30	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30～39	3	1	0	1	1	3	0	1	2	0
40～49	4	0	3	4	2	2	1	1	1	0
50～59	2	2	2	2	1	0	0	1	0	0
60～69	2	0	1	1	1	0	1	0	1	0
70～	2	0	0	3	2	1	1	1	1	0
女	15	0	3	6	5	9	2	3	5	2
～20	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0
20～30	3	0	0	0	1	2	0	0	1	0
30～39	2	0	0	0	0	1	0	1	0	0
40～49	1	0	1	0	0	1	0	1	0	1
50～59	1	0	1	2	1	2	0	0	0	0
60～69	5	0	1	2	2	2	1	0	2	0
70～	2	0	0	1	1	1	1	1	0	1
合計	30	3	9	17	13	15	5	7	11	2

都市化がすすむことによる影響

	利便向上	就業機会増	事故増加	水質汚濁	風景破壊	習慣差異	その他
男	7	5	20	4	10	2	1
～20	1	1	1	0	2	0	0
20～30	0	0	1	0	0	0	0
30～39	1	0	4	1	2	1	1
40～49	2	2	2	1	3	0	0
50～59	1	0	3	1	1	1	0
60～69	0	0	4	1	1	0	0
70～	1	1	5	0	1	0	0
女	6	3	16	7	5	3	4
～20	0	0	0	0	1	0	1
20～30	3	0	2	0	0	0	1
30～39	0	0	3	1	2	0	0
40～49	1	1	2	1	0	0	1
50～59	1	1	4	0	1	1	0
60～69	0	0	3	3	1	2	0
70～	1	1	2	2	0	0	0
合計	13	8	36	11	15	5	5



農地が広がり農業が営まれることについて

	環境良	散歩	野菜類	貸し農園	自然親しむ	不衛生	水路悪臭	危険	荒地	わからない
男	18	4	5	2	9	5	9	4	3	0
～20	2	0	0	0	1	1	1	0	0	0
20～30	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0
30～39	3	0	1	1	2	0	0	1	1	0
40～49	5	1	1	0	3	1	1	1	0	0
50～59	3	0	1	0	1	0	3	0	1	0
60～69	2	1	1	1	0	0	2	0	0	0
70～	2	2	1	0	1	3	2	1	1	0
女	23	2	9	0	13	6	4	3	4	0
～20	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0
20～30	3	1	1	0	1	1	0	0	0	0
30～39	3	0	1	0	2	1	0	0	1	0
40～49	2	0	1	0	1	1	2	1	1	0
50～59	5	0	2	0	4	1	0	1	0	0
60～69	5	1	2	0	2	1	2	1	1	0
70～	3	0	1	0	1	1	0	0	1	0
合計	41	6	14	2	22	11	13	7	7	0

今後の土地利用志向

	保全	限定転用	開発	その他	分からない
男	7	14	2	2	0
～20	1	0	1	0	0
20～30	0	1	0	0	0
30～39	1	2	0	1	0
40～49	1	4	0	0	0
50～59	1	2	1	1	0
60～69	2	2	0	0	0
70～	1	3	0	0	0
女	11	11	1	2	4
～20	0	1	0	0	0
20～30	1	1	1	0	2
30～39	2	0	0	0	1
40～49	1	1	0	1	0
50～59	2	3	0	0	1
60～69	3	4	0	0	0
70～	1	1	0	1	0
合計	18	25	3	4	4

開発容認例

	分家	公共	事務所	スーパー	その他
男	13	21	0	10	0
～20	0	2	0	1	0
20～30	0	1	0	0	0
30～39	2	4	0	2	0
40～49	5	4	0	3	0
50～59	2	4	0	1	0
60～69	2	3	0	2	0
70～	2	3	0	1	0
女	12	21	2	9	1
～20	0	1	0	0	0
20～30	1	5	1	2	0
30～39	2	3	0	1	0
40～49	2	2	0	1	0
50～59	3	4	1	2	1
60～69	3	3	0	1	0
70～	1	3	0	1	0
合計	25	42	2	19	1



福中里づくり協議会活動経過

名 称	日 程	出 席	協 議 内 容	摘 要
里づくり協議会 設立準備打合	平成 11 年 4 月	自治会長他	協議会規約, 委員構成 等	
里づくり協議会 設立委員会	4 月 8 日	自治会長 協議会設立 発起人	協議会規約の承認 役員の選出 アンケートの実施 今後の進め方	
里づくり協議会	8 月 19 日	役員他関係 者	土地利用計画等の検 討	
里づくり協議会	8 月～9 月	役員他関係 者	土地利用意向検討	
アンケート調査 実施	9 月	全 戸	全戸, 世帯主, 家族	
里づくり協議会 営農検討会	10 月 26 日	農会	福中の農業について	
地区現地調査	10 月 ～11 月	会長他	農業・環境・土地利用 景観について	
里づくり協議会	11 月 30 日	協議会委員	アンケート結果報告 里づくり計画素案の 検討	
里づくり協議会	12 月	全 戸	計画案の配布・回覧	

## あとがき

神戸市で「里づくり事業・里づくり計画の策定」の推進が始まり、平野町では下村集落と平野南部地区(向井, 芝崎, 慶明)の四集落がいち早く里づくり計画を策定されました。

その結果、福中集落がこの四集落にはさまれた形となりましたが、役員の皆様の熱意とご努力で四集落に引き続き平成 11 年度に早急に「里づくり協議会」を設立され、計画策定にも取りかかられました。

先発の四集落と同様に福中の里づくり計画策定のお手伝いをさせていただきましたが、説明会や色々な会議をさせていただいたなかで、集落の戸数が少ないこともあったかもしれませんが、会議等での皆さんの非常に高い出席率で決め事もスムーズ決定していただき、順調に計画を策定することが出来ました。おかげで先発の四集落に連担するかたちで一体的に土地利用計画の策定が出来たことを喜んでおります。

計画策定をお手伝いさせていただきました当初から、福中城跡に位置する集落で、集落内を旧三木街道がとおっているということから、集落の端から道を見通した時に何かノスタルジアを感じさせるものがあると思っていました。

この様な「過去からの良い雰囲気」を残しながら、未来に夢を持ちつづけて「里づくり」を継続されますことを心から願っております。

神戸市西農政事務所  
仲川 顯